

岩手県企業短期経済観測調査結果（2019年9月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の68社
- 回答率100%（回答数68社、うち製造業26社、非製造業42社）
- 回答期間 8月27日～9月30日

1. 業況判断指数（DI）

業況判断指数（全産業）は、前回調査（6月）の「良い」超から「悪い」超に転化（前回8 → 今回▲2）。「悪い」超となったのは2017年3月（▲2）以来。

業種別にみると、製造業は、天候不順等により業況判断を引き下げる先がみられたことから「悪い」超幅が拡大した（前回▲12 → 今回▲20）。非製造業は、天候不順や復興需要の減少等を理由として業況判断を引き下げる先がみられたことから、「良い」超幅が縮小した（前回19 → 今回9）。

先行きについて、製造業では、復興需要の減少や米中貿易摩擦の影響等から業況判断を引き下げる先がみられるものの、新製品の投入や海外での販路拡大による売上げ増加見込み等から業況判断を引き上げる先がみられたことから、「悪い」超幅が小幅縮小する見通し（今回▲20 → 先行き予測▲19）。非製造業では、先行きの復興需要の減少等から、「悪い」超に転化する見通し（今回9 → 先行き予測▲7）。全産業では「悪い」超幅が拡大する見通し（今回▲2 → 先行き予測▲12）。

この間、各種判断DI（参考1）をみると、「製商品・サービス需給判断DI」の「供給超過」超幅が拡大したほか、「製商品在庫判断DI」が「過大」超幅を幾分拡大した。「仕入価格判断DI」は、「上昇」超幅を縮小したほか、「販売価格判断DI」は、「上昇」超から「下落」超に転化した。また、「生産・営業用設備判断DI」は、「過剰」超幅が拡大した。「雇用人員判断DI」については、製造業が「不足」超幅を拡大した一方、非製造業の「不足」超幅が縮小したことから、全産業では、「不足」超幅が幾分縮小した。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	18/6月	9月	12月	19/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	4	11	19	▲4	▲12	▲20(▲23)	▲19
素材業種	12	0	12	0	12	12(0)	▲25
加工業種	0	17	22	▲6	▲22	▲33(▲33)	▲17
非製造業	3	14	12	4	19	9(3)	▲7
建設	20	34	40	27	26	20(13)	7
全産業	3	13	14	2	8	▲2(▲8)	▲12

2. 売上高・経常利益（2019年度計画）

売上高は、製造業では、米中貿易摩擦の影響等から下方修正する先がみられたことから、減収となった。非製造業では、新規の公共工事の受注獲得等から上方修正する先がみられたものの、復興需要の減少や米中貿易摩擦に伴う中国向けの売上げ減少等から、前年比では減収となる見込み。この結果、全産業では前年比減収となる計画。

経常利益は、製造業については、一部に上方修正する先がみられたものの、引き続き、米中貿易摩擦の影響や人件費の増加等から、前年比大幅な減益となる見込み。非製造業については、夏場の天候不順等から上期を中心に減益幅の拡大を見込む先がみられたことから、前年比で減益となる見込み。この結果、全産業についても減益となる見込み。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	2018年度(実績)		2019年度(計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲ 1.1	▲18.3	▲ 3.1 (▲ 0.3)	▲ 7.1 (▲ 0.6)	0.9 (0.0)	▲54.4 (58.4)	▲96.9 (利益)	▲31.9 (▲ 6.3)
非製造業	2.9	3.1	▲ 7.4 (0.3)	▲ 5.4 (▲ 0.3)	▲ 9.1 (0.9)	▲ 5.1 (▲ 1.7)	▲40.7 (▲11.6)	18.8 (2.2)
全産業	1.2	▲ 7.2	▲ 5.6 (0.0)	▲ 6.1 (▲ 0.4)	▲ 5.0 (0.5)	▲26.0 (9.1)	▲62.5 (86.5)	▲ 3.8 (▲ 0.7)

3. 設備投資額（2019年度計画）

設備投資（土地を含み、ソフトウェア・研究開発投資を含まない）については、製造業では、一部に先行きの景気の不透明感から投資を取り止める先がみられたことなどから、前年を僅かに下回る計画となった。非製造業では、一部に設備老朽化対応投資を追加する動きがみられたことから、前回調査比若干の増加となったものの、全体としては前年を下回る計画。全産業では、前年を若干下回る計画となった。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	設備投資*		ソフトウェア・研究開発を含む 設備投資（除く土地）	
	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)
製造業	5.9	▲ 0.6 (▲ 0.6)	9.9	▲ 7.4 (▲ 0.1)
非製造業	▲20.4	▲ 0.3 (1.2)	▲20.8	2.4 (1.1)
全産業	▲ 7.2	▲ 0.5 (0.1)	▲ 5.4	▲ 3.3 (0.4)

*土地を含み、ソフトウェア投資、研究開発投資を含まない。

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数構成比、%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		18/6月	9月	12月	19/3月	6月	9月	12月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲15	▲13	▲10	▲13	▲12	▲15(▲16)	▲19
製商品在庫	「過大」—「不足」	5	4	4	4	11	12(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	28	29	33	27	24	18(28)	25
販売価格		0	6	10	3	3	▲7(▲11)	▲11

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	18/6月	9月	12月	19/3月	6月	9月	12月 (予測)
製 造 業	▲11	▲15	▲15	0	11	15(15)	15
非 製 造 業	▲8	▲8	▲5	▲2	▲3	0(▲3)	0
全 産 業	▲9	▲11	▲9	▲2	3	6(4)	6

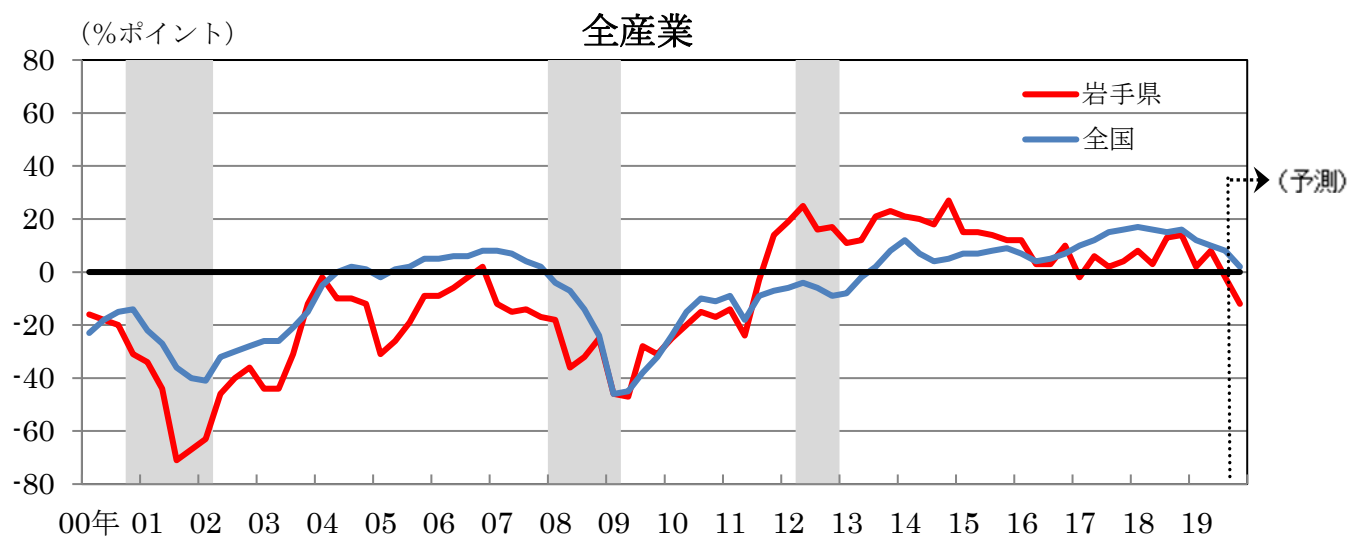
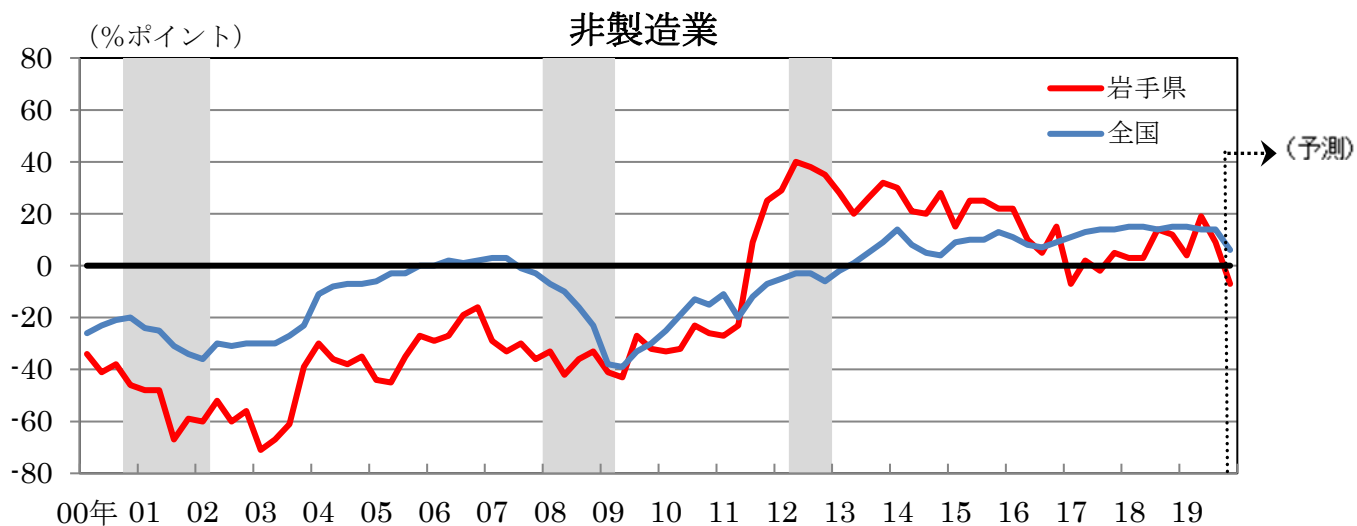
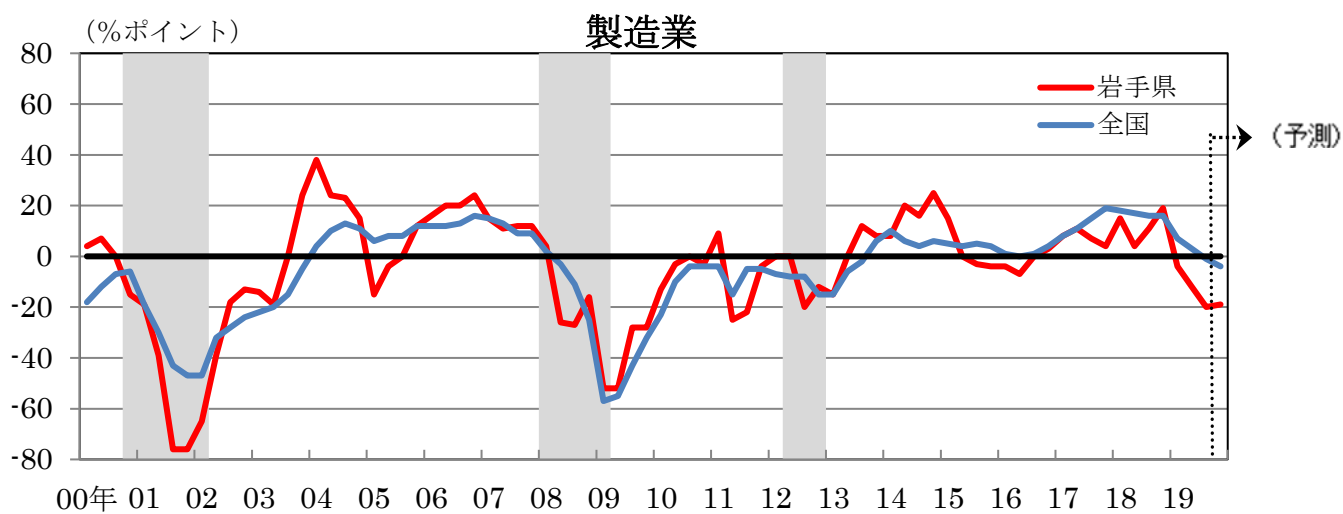
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	18/6月	9月	12月	19/3月	6月	9月	12月 (予測)
製 造 業	▲34	▲38	▲38	▲27	▲15	▲27(▲19)	▲23
非 製 造 業	▲52	▲50	▲46	▲43	▲49	▲41(▲46)	▲41
全 産 業	▲46	▲46	▲44	▲37	▲36	▲35(▲36)	▲34

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		18/6月	9月	12月	19/3月	6月	9月	12月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	4	3	5	1	9	7(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	13	11	10	13	10	8(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	2	3	4	▲5	▲5	0(8)	6

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		18/6月	9月	12月	19/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	全国	17	16	16	7	3	▲1(▲1)	▲4
	東北	14	9	9	▲3	▲6	▲5(▲7)	▲11
	岩手	4	11	19	▲4	▲12	▲20(▲23)	▲19
非製造業	全国	15	14	15	15	14	14(8)	6
	東北	8	7	6	10	8	9(2)	1
	岩手	3	14	12	4	19	9(3)	▲7
全産業	全国	16	15	16	12	10	8(4)	2
	東北	10	9	7	5	3	4(▲2)	▲3
	岩手	3	13	14	2	8	▲2(▲8)	▲12

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		18/6月	9月	12月	19/3月	6月	9月	12月 (予測)
全産業	岩手	3	13	14	2	8	▲2(▲8)	▲12
	青森	9	7	3	1	5	2(1)	▲4
	宮城	10	4	0	6	3	2(▲3)	▲1
	秋田	8	9	6	6	5	0(1)	▲3
	山形	19	14	6	5	▲2	5(▲8)	▲3
	福島	9	5	10	6	1	7(0)	▲2

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>